

1. 調査報告概要表

作成日 2008年7月11日

【評価実施概要】

事業所番号	1570600666
法人名	地域と共に暮らす会
事業所名	グループホームいじみの
所在地 (電話番号)	新潟県 新発田市大字五十公野4772番地2 (電話) 0254-22-2321
評価機関名	エム・エム・シー総合コンサルティング 株式会社
所在地	新潟県 上越市 富岡 3446
訪問調査日	平成20年7月9日

【情報提供票より】(平成20年4月29日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年4月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤 7 人, 非常勤 3 人, 常勤換算 7.2 人	

(2) 建物概要

建物構造	木造り		
	2階建ての	1階 ~	2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	15,750 円
敷金	有(120,000円)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 840円		

(4) 利用者の概要(6月23日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	5 名	要介護2	4 名		
要介護3	0 名	要介護4	0 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 73.1 歳	最低 53 歳	最高 85 歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	川井内科医院・豊島歯科医院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所は市の中心部から少し離れた位置にあり、大きな公園にもほど近く、緑豊かな環境にあります。2回建てのアパートを改修したホーム内の広さはほどよくなっています。ペットと一緒に生活や晩酌の習慣など一人ひとりのそれまでの生活が継続支援できるよう支援し、入居者の体力低下が目立ってきている中でも「その人らしい通常の日常生活」を大切にして、穏やかで自由な生活を支援しています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の調査の際に課題となった「相談苦情窓口の明示」・「入居者の希望に沿った介護計画の作成」については改善がされておりました。しかし、「運営理念の掲示」・「食材の買物などの外出」については引き続き改善の取り組みを期待します。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今回の自己評価に関しては、職員一人ひとりが自己評価をおこなったものを取りまとめて作成されました。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	包括支援センターのケアマネさんにも出席いただき、利用者様のサービスの実際の状況や取り組み、事故報告、問題点と解決方法などを運営推進会議にあげそこの意見を参考にしサービスの質の向上に努めております。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	苦情受付箱が玄関に設置しており、第三者機関の連絡先も掲示しております。苦情があった場合は、申し送り時や会議時に話し合い迅速に対応されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	7月の夏祭り、マラソン大会の沿道での応援、12月の地元の神社での祭りに参加し地域との交流を深めています。今後はさらに老人会や行事等に参加する機会を増やし、地域の方との交流の機会を増やしていただくことを期待します。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組みを期待したい項目 (印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
1. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所の内容に合わせた独自の理念を作成しており、職員会議などでも話し合っております。		家庭的な雰囲気を損なわないように事務所内に掲示しているのは確認できましたが、事業所内に明示し利用者や家族の理解を広めることを期待します。
		理念の共有と日々の取り組み			
2	2	管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎月の会議の中で職員と意見を交換し、職員の間で理念などを共有しており又、毎日の申し送りでも分からないことや意見交換をおこない職員同士や職員と管理者で理念を共有されています。		
		家族や地域への理念の浸透			
2-2	3	事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	入所時及び訪問された際の家族の説明時に理念などを説明し、理解と協力を得るように努めております。		
2. 地域との支えあい					
		地域とのつきあい			
3	5	事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	7月の夏祭り、マラソン大会の沿道での応援、12月の地元の神社での祭りに参加し地域との交流を深めています。		老人会や行事等に参加する機会を増やし、地域の方との交流の機会を増やしていただくことを期待します。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
		評価の意義の理解と活用			
4	7	運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員は、四半期に一度の独自の人事評価制度で自己評価を行い問題点を見つめその問題点を改善できるように努めております。		外部評価に関する改善計画シートが確認できませんでした。今後は評価で確認された課題を書式を使用し、経過を確認しながら改善につなげていただきたくことを期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組みを期待したい項目 (印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	包括支援センターのケアマネさんにも出席いただき、利用者様のサービスの実際の状況や取り組み、事故報告、問題点と解決方法などを運営推進会議にあげそこの意見を参考にしサービスの質の向上に努めております。		
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市とは利用者の状況により連絡を取り、サービスの質の向上に努めております。		
6-2	11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者や職員は高齢者虐待について話し合い高齢者の虐待防止に努めているほか、高齢者虐待についての研修などに参加し、高齢者の虐待に関心をもち、新聞で関連記事があれば職員に徹底しております。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	定期的受診時や家族様の面会時に最近の様子や状態について報告しております。また面会以外にも電話などで状態報告をしています。金銭管理については、利用者様の預かり金より購入した物については現金出納帳による管理や領収書の保管をし定期的に家族に確認、報告しております。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情受付箱が玄関に設置しており、第三者機関の連絡先も掲示しております。苦情があった場合は、申し送り時や会議時に話し合い迅速に対応されています。		玄関に置いてある苦情受付箱が見つらなくなっておりますので、家族に見え易いように対応していただくことを期待します。
8-2	16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の会議や毎日の申し送り時に職員の意見や提案を聞き、日々のケアや運営に活かしております。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	単独型のグループホームの為人事異動などの移動は行われておりません。職員の希望を出来るだけ聞き、処遇面や長期休暇をとれる仕組みを設け職員の離職を最小限に抑えるように努めております。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組みを期待したい項目 (印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
9-2	18-2	マニュアルの整備 サービス水準確保のための各種マニュアルが整備され、職員に周知されている。また、マニュアルの見直しが適宜行われている。	マニュアルは整備され、職員には必ず採用時には周知されており、半年ごとにマニュアルの見直しをしております。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修にできるだけ参加するように努めており、職員会議などで疑問に思っていることを提案し勉強会を行っています。		研修計画が確認できませんでしたので、研修計画を立て職員の育成に繋げていただくことを期待します。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホームの見学や、地域のグループホームが参加する交流会などに積極的に参加に努めております。		現在検討されている他施設との職員交流を実施されることを期待します。
11-2	21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	1週間の長期の休暇を毎年取得できるようになっているほか、職員同士で不安やストレスに感じることがある時は、職員同士で話しあったり、代表者も一緒に勤務しているので随時相談が出来るようになっております。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所前に家族様と利用者様にホームに来ていただき、ホームの雰囲気を感じてもらっています。又、入所前に体験入所を行いホームの雰囲気に慣れていただくように対応しております。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日々のケアの中に利用者様の生活暦を取り入れケアにあたっており、出来るだけ利用者様と接する時間を多くし、出来るだけ利用者様と一緒に食事の準備・洗濯等の家事作業を行っております。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組みを期待したい項目 (印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
13-2	28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族様が面会に来られた時には必ず職員と会話する時間を設け、一方的に話を聞くのではなく家族様から会話を引き出すように対応し一方的な立場にならないように努めています。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様一人一人の思いや暮らし方の希望や意向に沿って日々のケアにあたっています。利用者様とコミュニケーションを持つことで利用者様の思いを知り利用者様の意向にそったケアをしています。困難事例であっても利用者様の立場に立ってケアにあたっております。		
14-2	34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者様の一人一人の状態、生活歴の把握を個人別台帳で管理し日々のケアに反映できるように努め、生活環境を整えたケアにあたっております。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者様を取り巻く環境を把握し本人様、家族様、関係者の方と話し合い意見やアイデアを出し合い介護計画の作成を行っております。ご利用者がより良く暮らせるよう一人一人のケアのあり方について、ご利用者が自分の家に居るような支援ができるように介護計画を作成しております。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月行っているカンファレンスで見直しを行い、介護計画を作成し利用者様の必要な関係者の方と話し合い、現状に沿って計画を作成しております。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	面会時や日々のケアからご利用者やご家族の要望を聞き、状況に応じては通院介助などの柔軟な支援が出来るよう対応しております。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組みを期待したい項目 (印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医については事業所側が決めるのではなく、ご家族やご本人の希望や納得いくかかりつけ医を決めてもらっております。かかりつけ医と信頼関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援しております。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約時にはご家族に必ず説明し、状況に応じご家族とかかりつけ医と蜜に連絡をとり、全員で方針を決め早期に対応しております。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録等についてはプライバシーに配慮しながら利用者様一人一人に合わせた記録を作成しております。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	毎日の生活での日課を決めず、利用者様の希望に沿って支援できるように対応しております。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者の好き嫌いは事前に把握し、献立はご利用者の希望を取り入れながら決めております。また、ご利用者の状況に合わせて準備や片付けに参加してもらっております。		
22-2	56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	利用者様の排泄パターンや排泄サインを把握し、トイレで排泄できるように支援しております。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組みを期待したい項目 (印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的な入浴日は決めています。ご利用者の希望やタイミングに合わせて入浴できるように支援しております。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ご利用者の一人一人の生活歴や状態を把握し張り合いや喜びのある生活が出来るように支援しております。また、日々の生活にメリハリを持てるように役割や楽しみごとを生活の中で支援しております。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は散歩に出かけているなど、ご利用者の希望に沿って外に出かけられるように支援しております。		ご利用者の体調を考えて外出を控えている事業所の方針は理解できますが、外出できる機会を増やしていただけることを期待します。
(4) 安心と安全を支える支援					
25-2	65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員は、身体拘束について正しく理解し身体拘束をしないケアに取り組んでおります。また、入所時にはご家族に身体拘束をしないケアに取り組んでいることを説明し、ご家族に納得していただいております。		
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	基本的には日中玄関の鍵は掛けないようにしております。ご利用者の精神状態等止むを得ない場合はご家族の了承を得ております。		
26-2	69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ホーム内で予測できる危険について毎月の会議や申し送り時に話し合い知識を学び事故防止に取り組んでいます。事故等が起きた場合、事故発生報告やヒアリングを作成し、事故の詳細を把握すると共に防止策をたて事故防止に努めております。		
26-3	70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時の対応のマニュアルを作成し、いつでも観覧できるようになっています。適切な対応が出来るようにマニュアルを熟読を課すと共に看護師による緊急時の対応について指導を受けております。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組みを期待したい項目 (印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練を実施し昼夜問わず避難できるように訓練しております。また、避難時の避難経路が確保できるように日ごろから点検を行っております。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人の状態にあわせ量や硬さを調整しており、一人一人の食事が分かるように個人記録に記録しております。また栄養バランスに配慮し献立を決めています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間の飾りつけは季節に合わせた飾りつけにし季節感をとりれています。又、居心地良く過ごせるように和室や掘りごたつ、ソファも設置しています。表札などは親しみやすく分かりやすい表札にしています。光や音の調整は定期的にカーテンなど使用し不快感がないように支援しています。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室の家具等の調度品の持込は、室内に入る限り制限はしておりません。ご利用者の思い出の品や使い慣れた物を使用していただいています。居室内は、畳や障子を使用し家庭的な雰囲気を取り入れています。居室内の家具の配置や使い方は、ご家族やご利用者が自由に使いやすいようにレイアウトしてもらっています。		